

オシロスコープ用プローブポジショナ
PSシリーズ



PS-200
株式会社 ミコジック

<http://www.micogic.jp>

この度はプローブポジショナPSシリーズをお求めいただきまして、誠にありがとうございます。

PSシリーズは平面上に設置された基板だけでなく机上や製品に組み込まれた基板等様々な状況の対象物に対応することが可能なプローブポジショナです。

この説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。

項目

全体構造及び基本的な操作の流れ

- 1-1. 全体構造
- 1-2. 基本的な操作の流れ

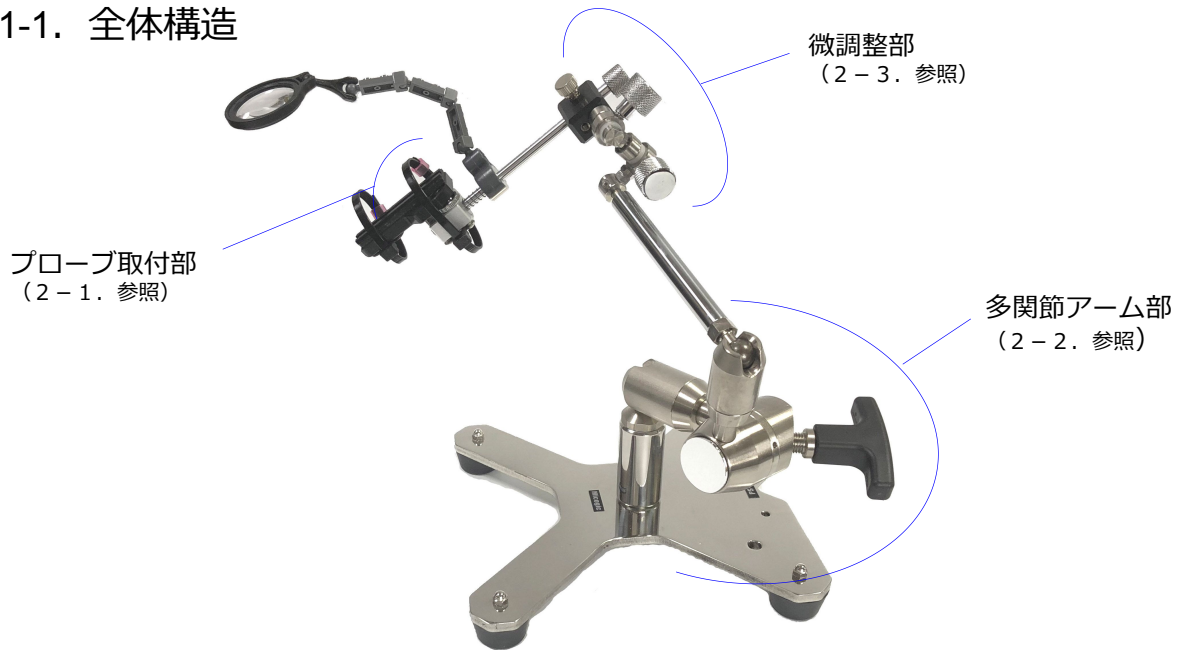
使用手順及び操作について

- 2-1. プローブの取付
- 2-2. 多関節アーム部による粗位置調整
- 2-3. 微調整及びプロービング

その他

- 3-1. ルーペ等 付属品

1-1. 全体構造



※ 2019年9月以降出荷分より、操作性向上のため、先端部（プローブ取付部微調整部）の構造及び操作方法が変更になっております。（上写真は新しいタイプとなります。）

※本説明書では支障のない箇所については旧タイプの写真を用いております。
ご了承ください。

※旧タイプからの変更点につきましてはお問い合わせください。

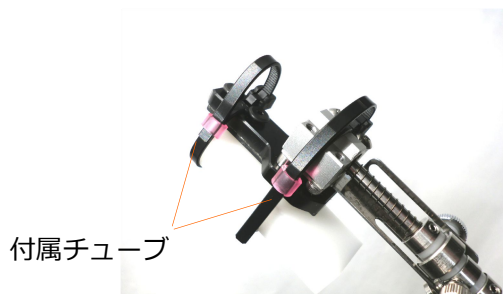
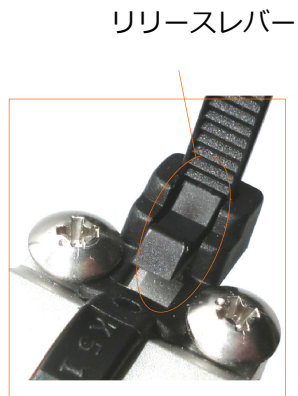
1-2. 基本的な操作の流れ

プローブの取付	2-1. 参照
↓	
多関節アームによる粗位置調整	2-2. 参照
↓	
微調整及びプロービング	2-3. 参照

2-1. プローブの取付け



2本のタイバンドをしっかり締めてプローブを固定します。
タイバンドを緩める際にはリリースレバーを押して下さい。



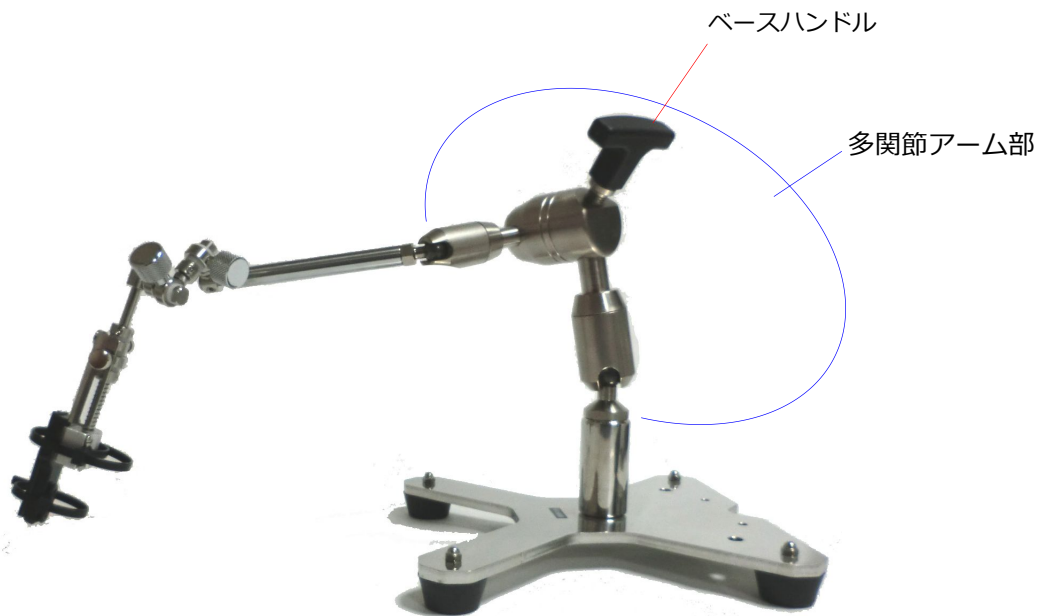
タイバンドの余りが邪魔になる場合は付属チューブに通して仕舞ってください。



タイバンドの長さが足りない場合は付属の予備タイバンドを連結してください。
余りが長すぎる場合にはバンドを適当な長さでカットしてください。

2-2. 多関節アーム部による位置調整

多関節アーム部にて測定対象物に対して、位置決め調整を行ってください。



ベースハンドルを緩めてプローブの位置を調整してください。
ベースハンドルを締めていくと土台部から徐々に固定されていきます。
半固定の状態で位置あわせをし、最後はしっかりハンドルを締めてアームを固定してください。

注意

ベースハンドルを緩める時はアーム先端部の不意な落下を防ぐためしっかりプローブ部を保持してください。

水平設置基板時 使用例



垂直設置基板時 使用例



2-3. 微調整及びプロービング



半固定のベースハンドル部、微調整 1、微調整 2、先端角度調整（下記）などの微調整を行いながらストロークさせて測定対象にコンタクトさせ、適切な接触圧になるまでスプリング部を押し込んだ後、ストローク固定ノブを締め、固定してください。

先端角度調整について

先端部ではFETプローブ等、2本のプローブに均等に荷重をかける為の調整を行うことができます。



3-1. 付属品

1. プローブ先を拡大する為のルーペを付属しています。使用例のように取り付けて御使用ください。



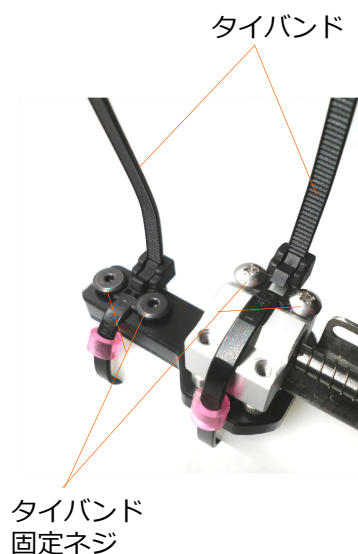
プローブ先端拡大用ルーペ



使用例

2. 予備のタイバンドを6本、及びタイバンド固定ネジを2種類、付属しています。

タイバンドの消耗時の交換や延長（2-1）時に御使用ください。



※タイバンドは一般販売品も使用可能です。詳しくはお問い合わせください。